

「コロナ下における燃料油価格激変緩和事業について」に関する提言

令和3年11月30日

公認会計士 中澤省一郎

nakazawas-cpa@athena.ocn.ne.jp

上記事業に関しまして、現在は詳細な制度設計中であると認識しております、
ご尽力に感謝いたしております。

本事業の目的は、「元売に原油コスト（日経ドバイの週次コスト）上昇分を支援（変動幅に応じて最大5円まで）して、卸価格を据置することで、小売価格も基本的に上昇しないことにする」と認識しており、本目的を達成しやすいように、漏れ伝わってくる情報とを総合した上で、以下を提言いたします。

提言 「基準日経ドバイ週次コスト」の導入

表1をご覧ください。私の知る限り、支援額は日経ドバイ週次コストの「当週—前週」であり、この場合には支援額控除後の元売コストは第2週以降上昇し、卸売価格を据え置く場合には元売の負担が発生するか、卸価格が上昇します。

発動条件として設定されたレギュラーガソリンの価格を始めて上回った週を当週として、その前週の日経ドバイ週次コストを「基準日経ドバイ週次コスト」として、支援額を日経ドバイ週次コストの「当該週—基準」としていただきたいと提言します。（表2をご覧ください。）

<表1 支援額を「当週ー前週」とした場合>

	第0週	第1週	第2週	第3週	第4週
日経トバイ週次コスト	60円	65円	63円	65円	65円
前週ー当週	—	+5円	▲2円	+2円	±0円
支援額	—	5円	0円	2円	0円
支援額控除後の元売コスト	60円	60円	63円	63円	65円

第2週から第4週は、元売コストが上昇してしまいますので、「目的」を達することはできません。

<表2 第0週の**基準日経トバイ週次コスト**を導入した場合>

支援額控除後の元売コストは据え置かれて、目的を達することが出来ます。

	第0週 (基準)	第1週	第2週	第3週	第4週
日経トバイ週次コスト	60円	65円	63円	65円	65円
基準 ー当該週	—	+5円	+3円	+5円	+5円
支援額	—	5円	3円	5円	5円
支援額控除後の元売コスト	60円	60円	60円	60円	60円